

# 18歳意識調査 「第20回 -社会や国に対する意識調査-」 要約版

---

日本財団 2019年11月30日

# 目次

調査概要	3
自身について	5
解決したい社会課題	6
解決したい社会課題（各国ランキング）	7
自分の国の将来について	8
自分の国が将来、どのような国になって欲しいか	9
自分の国が将来、どのような国になって欲しいか（各国ランキング）	10
どのようにして国の役に立ちたいか	11
どのようにして国の役に立ちたいか（各国ランキング）	12

# 調査概要 「18歳意識調査」 -社会や国に対する意識調査-

**エリア** インド・インドネシア・韓国・ベトナム・中国  
イギリス・アメリカ・ドイツ・日本

**調査対象** 各国の17歳～19歳男女

**回答数** 各国1000名  
※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1000

**調査除外** 下記の関係者は調査から除外  
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/  
情報提供サービス・調査業/広告業

**実施期間** 2019年9月27日（金）～10月10日（木）

**調査手法** インターネット調査

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

# 要約

---

# 自身について

日本は、いずれの項目においても9カ国の中で他の国に差をつけて最下位となった。

Q1 あなた自身について、お答えください。（各国n=1000）  
（※各設問「はい」回答者割合）

	自分を大人だと思う	自分は責任がある社会の一員だと思う	将来の夢を持っている	自分で国や社会を変えられると思う	自分の国に解決したい社会課題がある	社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している
日本 (n=1000)	29.1%	44.8%	60.1%	18.3%	46.4%	27.2%
インド (n=1000)	84.1%	92.0%	95.8%	83.4%	89.1%	83.8%
インドネシア (n=1000)	79.4%	88.0%	97.0%	68.2%	74.6%	79.1%
韓国 (n=1000)	49.1%	74.6%	82.2%	39.6%	71.6%	55.0%
ベトナム (n=1000)	65.3%	84.8%	92.4%	47.6%	75.5%	75.3%
中国 (n=1000)	89.9%	96.5%	96.0%	65.6%	73.4%	87.7%
イギリス (n=1000)	82.2%	89.8%	91.1%	50.7%	78.0%	74.5%
アメリカ (n=1000)	78.1%	88.6%	93.7%	65.7%	79.4%	68.4%
ドイツ (n=1000)	82.6%	83.4%	92.4%	45.9%	66.2%	73.1%

# 解決したい社会課題

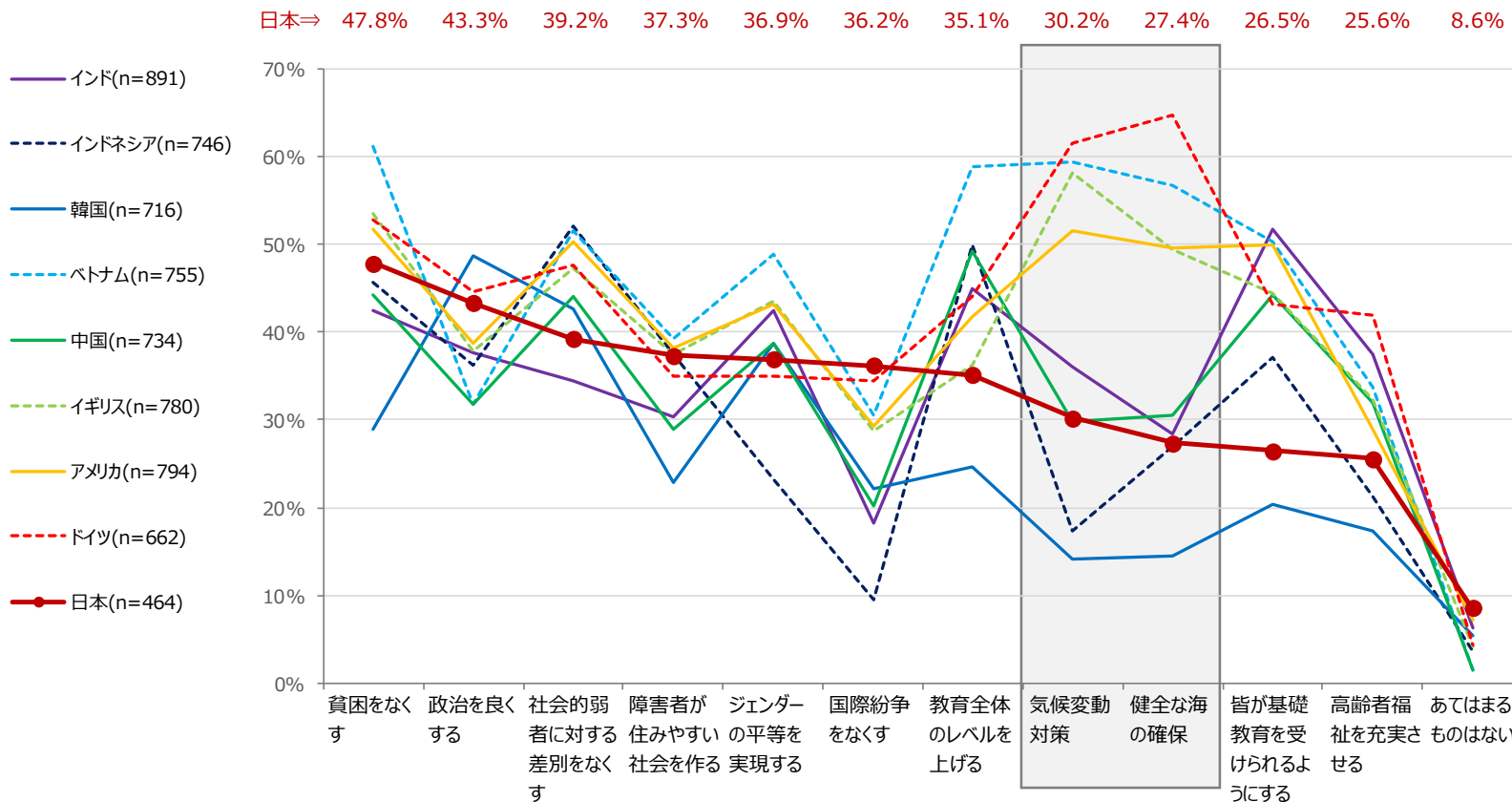
日本では、「貧困をなくす」「政治を良くする」「社会的弱者に対する差別をなくす」「障害者が住みやすい社会を作る」「ジェンダーの平等を実現する」が上位にあがる。

- 「気候変動対策」「健全な海の確保」の環境に関する問題については、問題意識の高さに差が見られ、「ドイツ」「ベトナム」「イギリス」「アメリカ」と、それ以外の国とで、2つに大きく分かれた。

## ■「自分の国に解決したい社会課題がある」回答者

Q2 あなたが解決したいと思っている社会課題は何ですか。（複数回答）

※日本で選択率が高い項目順



# 解決したい社会課題（各国ランキング）

「貧困をなくす」は9カ国共通して、解決したい社会課題の上位にあがる。また、「社会的弱者に対する差別をなくす」もほとんどの国で上位にあがった。「貧困」と「差別」は共通して解決すべき問題と認識されている。

## ■「自分の国に解決したい社会課題がある」回答者

Q2 あなたが解決したいと思っている社会課題は何ですか。（複数回答）

日本 (n=464)	インド (n=891)	インドネシア (n=746)	韓国 (n=716)	ベトナム (n=755)
1位 <b>貧困をなくす</b> 47.8%	1位 皆が基礎教育を受けられるようにする 51.7%	1位 <b>社会的弱者に対する差別をなくす</b> 52.0%	1位 政治を良くする 48.7%	1位 <b>貧困をなくす</b> 61.1%
2位 政治を良くする 43.3%	2位 教育全体のレベルを上げる 45.0%	2位 教育全体のレベルを上げる 49.9%	2位 <b>社会的弱者に対する差別をなくす</b> 42.6%	2位 気候変動対策 59.3%
3位 <b>社会的弱者に対する差別をなくす</b> 39.2%	3位 <b>貧困をなくす</b> 42.4%	3位 <b>貧困をなくす</b> 45.6%	3位 ジェンダーの平等を実現する 38.7%	3位 教育全体のレベルを上げる 58.9%
4位 障害者が住みやすい社会を作る 37.3%	4位 ジェンダーの平等を実現する 42.4%	4位 障害者が住みやすい社会を作る 37.4%	4位 <b>貧困をなくす</b> 28.9%	4位 健全な海の確保 56.7%
5位 ジェンダーの平等を実現する 36.9%	5位 政治を良くする 37.6%	5位 皆が基礎教育を受けられるようにする 37.1%	5位 教育全体のレベルを上げる 24.7%	5位 <b>社会的弱者に対する差別をなくす</b> 51.5%

中国 (n=734)	イギリス (n=780)	アメリカ (n=794)	ドイツ (n=662)
1位 教育全体のレベルを上げる 49.2%	1位 気候変動対策 58.2%	1位 <b>貧困をなくす</b> 51.8%	1位 健全な海の確保 64.8%
2位 <b>貧困をなくす</b> 44.3%	2位 <b>貧困をなくす</b> 53.5%	2位 気候変動対策 51.5%	2位 気候変動対策 61.5%
3位 皆が基礎教育を受けられるようにする 44.3%	3位 健全な海の確保 49.4%	3位 <b>社会的弱者に対する差別をなくす</b> 50.3%	3位 <b>貧困をなくす</b> 52.7%
4位 <b>社会的弱者に対する差別をなくす</b> 44.1%	4位 <b>社会的弱者に対する差別をなくす</b> 47.3%	4位 皆が基礎教育を受けられるようにする 50.0%	4位 <b>社会的弱者に対する差別をなくす</b> 47.7%
5位 ジェンダーの平等を実現する 38.8%	5位 皆が基礎教育を受けられるようにする 44.4%	5位 健全な海の確保 49.6%	5位 政治を良くする 44.6%

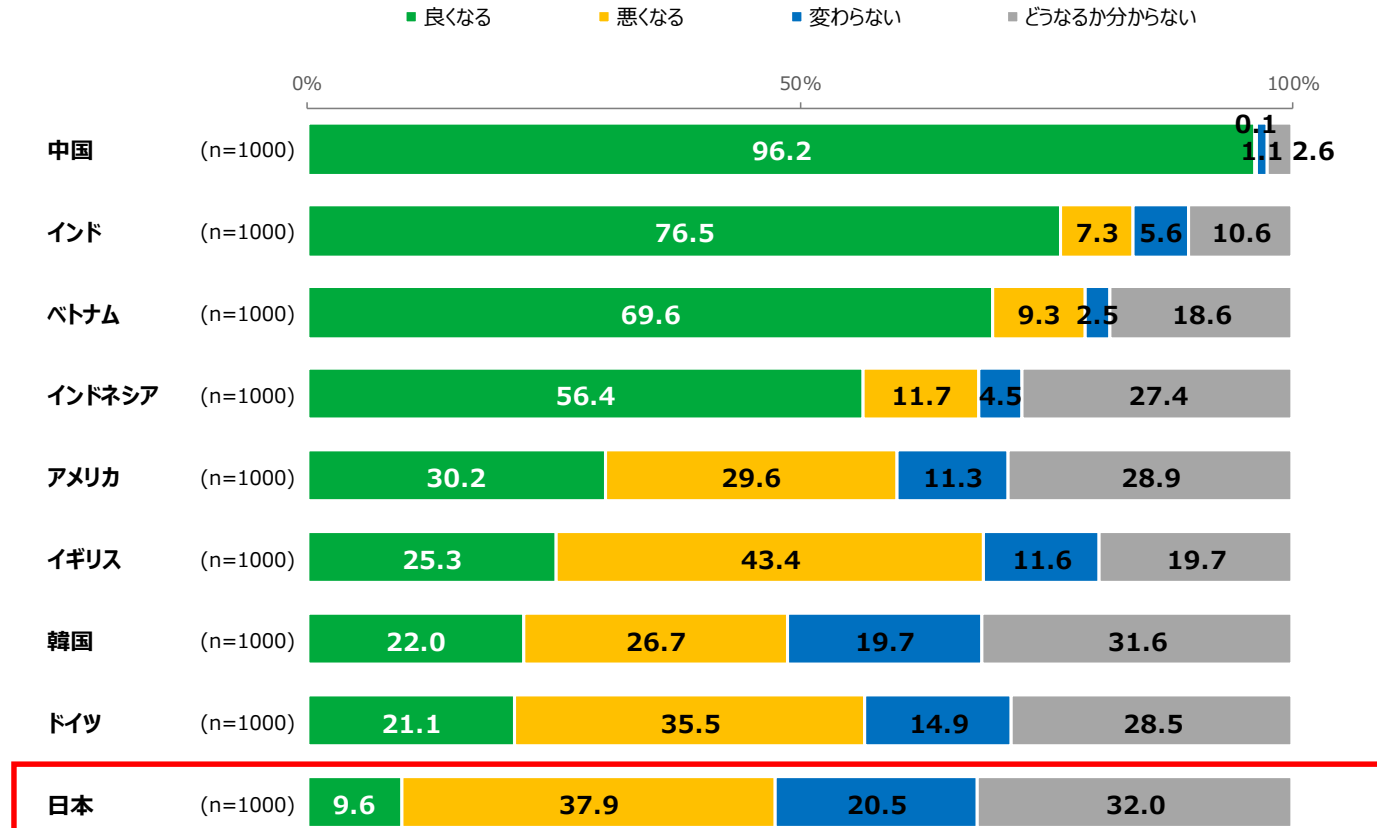
# 自分の国の将来について

自分の国について、「良くなる」と回答した人が過半数を占めたのは、「中国」「インド」「ベトナム」「インドネシア」。特に「中国」は96.2%と、ほとんどの人が「良くなる」と回答。

- 「日本」は「良くなる」が9.6%で9カ国中最下位。「悪くなる」のスコアは高く、イギリスに次いで2位。「変わらない」20.5%、「どうなるか分からない」32.0%がそれぞれ9カ国中最多で、国の将来に対する展望を持ってない人の割合が多い。

Q3 自分の国の将来についてどう思っていますか。（各国n=1000）

※「良くなる」スコアが高い順



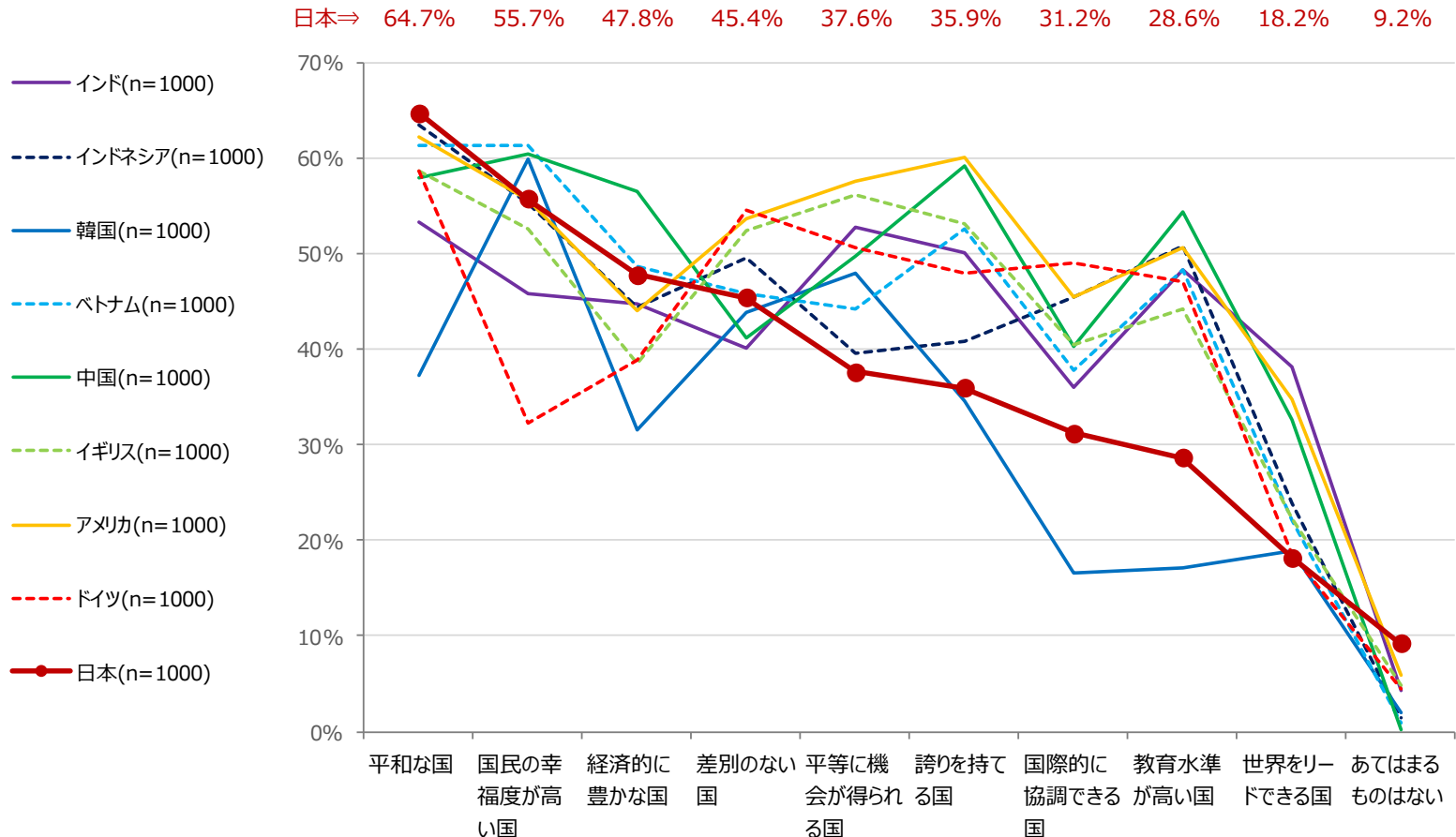


# 自分の国が将来、どのような国になって欲しいか

日本では「平和な国」「国民の幸福度が高い国」「経済的に豊かな国」「差別のない国」「平等に機会が得られる国」が上位にあがる。

Q4 あなたは自分の国が将来、どのような国になって欲しいと思いますか。（複数回答）（各国n=1000）

※日本で選択率が高い項目順



# 自分の国が将来、どのような国になって欲しいか（各国ランキング）

「平和な国」は9カ国共通して上位にあがる。また、「国民の幸福度が高い国」もほとんどの国で上位にあがった。

Q4 あなたは自分の国が将来、どのような国になって欲しいと思いますか。（複数回答）（各国n=1000）

日本 (n=1000)	インド (n=1000)	インドネシア (n=1000)	韓国 (n=1000)	ベトナム (n=1000)
1位 <b>平和な国</b> 64.7%	1位 <b>平和な国</b> 53.3%	1位 <b>平和な国</b> 63.5%	1位 <b>国民の幸福度が高い国</b> 59.9%	1位 <b>平和な国</b> 61.3%
2位 <b>国民の幸福度が高い国</b> 55.7%	2位 平等に機会が得られる国 52.8%	2位 <b>国民の幸福度が高い国</b> 55.3%	2位 平等に機会が得られる国 48.0%	2位 <b>国民の幸福度が高い国</b> 61.2%
3位 経済的に豊かな国 47.8%	3位 誇りを持てる国 50.1%	3位 教育水準が高い国 50.7%	3位 差別のない国 43.8%	3位 誇りを持てる国 52.5%
4位 差別のない国 45.4%	4位 教育水準が高い国 48.2%	4位 差別のない国 49.5%	4位 <b>平和な国</b> 37.3%	4位 経済的に豊かな国 48.7%
5位 平等に機会が得られる国 37.6%	5位 <b>国民の幸福度が高い国</b> 45.7%	5位 国際的に協調できる国 45.4%	5位 誇りを持てる国 34.5%	5位 教育水準が高い国 48.3%

中国 (n=1000)	イギリス (n=1000)	アメリカ (n=1000)	ドイツ (n=1000)
1位 <b>国民の幸福度が高い国</b> 60.3%	1位 <b>平和な国</b> 58.6%	1位 <b>平和な国</b> 62.1%	1位 <b>平和な国</b> 58.6%
2位 誇りを持てる国 59.2%	2位 平等に機会が得られる国 56.1%	2位 誇りを持てる国 60.1%	2位 差別のない国 54.5%
3位 <b>平和な国</b> 57.9%	3位 誇りを持てる国 53.0%	3位 平等に機会が得られる国 57.6%	3位 平等に機会が得られる国 50.6%
4位 経済的に豊かな国 56.5%	4位 <b>国民の幸福度が高い国</b> 52.6%	4位 <b>国民の幸福度が高い国</b> 55.6%	4位 国際的に協調できる国 48.9%
5位 教育水準が高い国 54.4%	5位 差別のない国 52.3%	5位 差別のない国 53.6%	5位 誇りを持てる国 48.0%

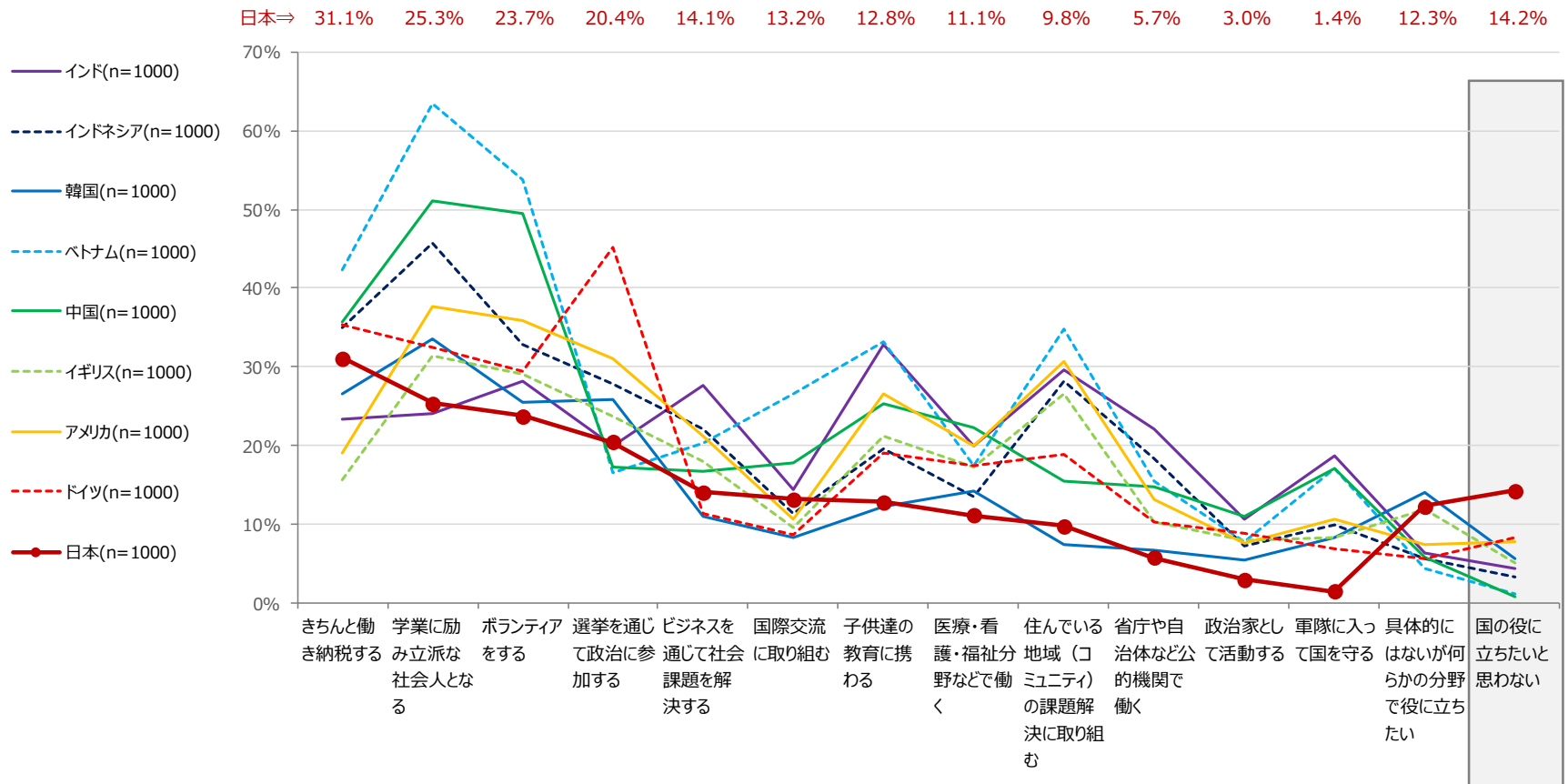
# どのようにして国の役に立ちたいか

日本では、「きちんと働き納税する」「学業に励み立派な社会人となる」「ボランティアをする」「選挙を通じて政治に参加する」「ビジネスを通じて社会課題を解決する」が上位にあがる。

- また、日本は「国の役に立ちたいと思わない」が14.2%と9カ国中最多。

Q5 あなたは、どのようにして国の役に立ちたいと思いますか。（複数回答）（各国n=1000）

※日本で選択率が高い項目順



# どのようにして国の役に立ちたいか（各国ランキング）

「学業に励み立派な社会人となる」「ボランティアをする」は9カ国共通して上位にあがる。

Q5 あなたは、どのようにして国の役に立ちたいと思いますか。（複数回答）（各国n=1000）

日本 (n=1000)		インド (n=1000)		インドネシア (n=1000)		韓国 (n=1000)		ベトナム (n=1000)	
1位	きちんと働き納税する 31.1%	1位	子供達の教育に携わる 32.8%	1位	<b>学業に励み立派な社会人となる 45.7%</b>	1位	<b>学業に励み立派な社会人となる 33.5%</b>	1位	<b>学業に励み立派な社会人となる 63.5%</b>
2位	<b>学業に励み立派な社会人となる 25.3%</b>	2位	住んでいる地域（コミュニティ）の課題解決に取り組む 29.6%	2位	きちんと働き納税する 35.0%	2位	きちんと働き納税する 26.5%	2位	<b>ボランティアをする 53.8%</b>
3位	<b>ボランティアをする 23.7%</b>	3位	<b>ボランティアをする 28.1%</b>	3位	<b>ボランティアをする 32.9%</b>	3位	選挙を通じて政治に参加する 25.9%	3位	きちんと働き納税する 42.4%
4位	選挙を通じて政治に参加する 20.4%	4位	ビジネスを通じて社会課題を解決する 27.7%	4位	住んでいる地域（コミュニティ）の課題解決に取り組む 28.1%	4位	<b>ボランティアをする 25.5%</b>	4位	住んでいる地域（コミュニティ）の課題解決に取り組む 34.8%
5位	ビジネスを通じて社会課題を解決する 14.1%	5位	<b>学業に励み立派な社会人となる 24.0%</b>	5位	選挙を通じて政治に参加する 27.8%	5位	医療・看護・福祉分野などで働く 14.2%	5位	子供達の教育に携わる 33.1%
中国 (n=1000)		イギリス (n=1000)		アメリカ (n=1000)		ドイツ (n=1000)			
1位	<b>学業に励み立派な社会人となる 51.0%</b>	1位	<b>学業に励み立派な社会人となる 31.3%</b>	1位	<b>学業に励み立派な社会人となる 37.7%</b>	1位	選挙を通じて政治に参加する 45.2%		
2位	<b>ボランティアをする 49.5%</b>	2位	<b>ボランティアをする 29.0%</b>	2位	<b>ボランティアをする 35.8%</b>	2位	きちんと働き納税する 35.4%		
3位	きちんと働き納税する 35.7%	3位	住んでいる地域（コミュニティ）の課題解決に取り組む 26.6%	3位	選挙を通じて政治に参加する 31.0%	3位	<b>学業に励み立派な社会人となる 32.5%</b>		
4位	子供達の教育に携わる 25.3%	4位	選挙を通じて政治に参加する 23.6%	4位	住んでいる地域（コミュニティ）の課題解決に取り組む 30.6%	4位	<b>ボランティアをする 29.5%</b>		
5位	医療・看護・福祉分野などで働く 22.3%	5位	子供達の教育に携わる 21.2%	5位	子供達の教育に携わる 26.5%	5位	子供達の教育に携わる 19.1%		